

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期決算のポイント

1. 実績について

(単位：億円)

	連結			単体		
	実績	前期比	前期差	実績	前期比	前期差
売上高	1,820	103.3%	58	1,046	102.2%	22
営業利益	80	97.2%	2	50	100.9%	0
経常利益	87	100.3%	0	60	103.7%	2
四半期純利益	54	107.3%	3	45	131.6%	11

<連結概況>...売上高、経常利益、四半期純利益で過去最高を更新。

● 売上高...前期から 58 億円の増収

伊勢丹単体は 22 億円の増収となりました。店舗別では本店と浦和店が大幅な増収となり、特に 3 月にリモデルオープンした浦和店は前期比 109.9%と 2 桁に近い伸びを示しました。

国内百貨店グループでは岩田屋の 5 億円増を含む 11 億円の増収、海外百貨店グループではマレーシアの 5 億円増を含む 19 億円の増収となりました。

● 営業利益...前期から 2 億円の減益

セグメント別の営業利益は、百貨店業はほぼ前年並みでしたが、クレジット・金融業が上期に先行してシステム開発費用を計上するため、1.9 億円の減益となりました。

● 経常利益...前期から 0.2 億円の増益

営業外収支の黒字幅が 2.5 億円拡大しました。特に金融収支は 2.1 億円のプラスと、前期のマイナス 0.2 億円から 2.3 億円改善しました。

● 四半期純利益...前期から 3 億円の増益

特別損失として子会社で発生した固定資産減損損失 3 千万円を計上しました。

2. 業績予想について

(単位：億円)

	連結				単体			
	中間期		通期		中間期		通期	
	今回予想	前回差	今回予想	前回差	今回予想	前回差	今回予想	前回差
売上高	3,640	10	7,670	100	2,080	-	4,490	-
営業利益	125	-	320	-	86	-	210	-
経常利益	131	-	330	-	94	-	220	-
中間(当期)純利益	79	10	190	10	56	-	130	-

<業績予想のポイント>...子会社株式売却により連結売上高を下方修正するが、営業利益、経常利益への影響は軽微であるため変更なし。

● 単体

中間期・通期：第 1 四半期がほぼ予想通りに推移したことから前回発表から修正は行っておりません。

● 連結

中間期：中間期終了までに連結子会社であるパーニーズジャパン全株式の売却が見込まれることから、売上高を 10 億円下方に修正、また繰延税金資産の回収可能性見直しにより当期純利益を 10 億円上方に修正しました。

通期：中間期と同様の理由により売上高を下期に 90 億円下方に修正した結果、通期で 100 億円の下方修正となりました。